



聖ペトロ・聖パウロ

カトリック延岡教会

ST.Peter & ST.Paul Nobeoka Catholic Church

2024年4月

No.66

〒882-0825 宮崎県延岡市須崎町4-3 ☎0982-32-6501 ◇FAX0982-20-4640 ◇HPwww.nobeoka-catholic.com

「日本のシノドスのつどい」での「霊における会話」

2024年3月7日～8日に日本カトリック会館で開催された「日本のシノドスのつどい」の資料として用いられたのが小冊子『日本のシノドスのつどい～霊における会話～』です。内容は、個人の準備から終わりの祈りにかけて、五つの部分に分けられて構成されています。その構成の仕方に今後のシノドスの一つの方向性が示されているように思います。

- *個人の準備 ... 会話をするための心の準備を整える。
*「発言し、耳を傾け」... 会話を成立させるためのルールを確認する。
*「他者と神のためのスペースを開いて」... 霊の働きに素直になり静かに発言する。
*「ともに形づくって」... 人に働きかける霊の導きに耳を傾ける。
*感謝のための終わりの祈り ... 他者のために心の中に場所を準備する。
神のために心の中に場所を準備する。
「ともに」会話する。
「建設的に」会話する。
他者に感謝する。
神に感謝する。

シノドス[シン(ともに)・オドス(道を)]の成功を願いながらシノドスの動きに注意を払っていきたいと思います。(主任司祭 木口善孝)

【ご報告】 ○ 訃報: 3/5 アンドレアス溝部征勝さんが帰天されました。安息をお祈りします。
○ 私たちキリスト者にとって年間の典礼の中でも最も重要な四旬節・復活節を迎え過しています。
個々の日常を反省し、兄弟姉妹と思いを分かち合いながら、御心に適う行動を目指して参りましょう!

3/24 枝の主日: 今年は、日向教会の庭のソテツの葉(枝)を頂いて準備。ミサで祝別された枝は、
来年の「灰の水曜日」に用いる「灰」にするまで、ご家庭で大切に保管願います。
回収については、来年の四旬節前にご案内いたします。

~3/28 四旬節中の「十字架の道行」は、前年までの金曜午前中に代えて、主日ミサ後に
実施しました=参加者が少しは増えた模様。。

3/28-30 聖なる過ぎ越しの3日間:-主の晩さんの夕べのミサ(聖木曜日)に始まる3日間の
の祭儀を毎夜19時から行い、受難~復活の神秘を黙想しました。

3/30-31 復活徹夜祭&復活の主日ミサを捧げました。
イースターエッグを「女性の会」「ウルスラ修道院」の皆様へ製作&配布を頂きました
...感謝! 「復活のロウソク」は、昨年のロウソクを衣替え復活させて利用しています
=教会もSDGs...

31日のミサ後に、ご復活を共に祝う茶話会を実施。当日受洗の佐藤さんへの
祝意、延岡から所沢に移られる尾方さんの送別の意も込めた進行を致しました、

3/31 教会に通うことが困難な佐藤さんの洗礼式をご自宅にて挙行。木口神父様の他に
代母を含めた4名の信徒が訪問し、上述茶話会で皆が歌った祝意の聖歌と記念
のロザリオも伝達。新しい姉妹に 霊名マリア として加わりました。



【ご連絡】

- 主日ミサで ミサ曲『B』を用いることを開始。楽譜は、教会常備の「聖歌集ファイル」の
最終ポケットに入れてあります
○ 教会情報の連絡用のスマホアプリ=『らくらく連絡網+(プラス)』の各自インストールにご協力を!

【今後の行事予定】

Table with 4 columns: Date, Event Name, Location/Notes, and Time. Rows include World Day of Prayer, Ascension, World Day of the Poor, and Pentecost.

延岡教会 掲示板 聖書のことば

4月7日～

「信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」

(ヨハネによる福音書 20 章 27 節)

4月14日～

「あなたがたは、これらのことの証人となる。」

(ルカによる福音書 24 章 48 節)

4月21日～

「わたしは良い羊飼いである。

わたしは自分の羊を知っており、羊もわたしを知っている。」

(ヨハネによる福音書 10 章 14 節)

4月28日～

「わたしにつながっていなさい。わたしもあなたがたにつながっている。」

(ヨハネによる福音書 15 章 4 節)

延岡教会共同体の維持・運営を支える各種経費納入にご協力をお願いします

ミサの際の献金、特別イベントに関する募金以外に、信徒の務めとして定例で納入をお願いしている費用(負担)には、教会維持費、営繕費、神学生養成費等があり、この3種については入金用の封筒があります(光熱費、「聖書と典礼」購入他ミサ関係諸々の購入費、設備維持費、大分教区納入費等出費色々に充当＝詳細は信徒総会資料を参照ください)。

延岡教会所属信徒の皆さんにはお御堂内入って左側の棚に世帯別の「引き出し」があり、そこに各種お知らせや入金用封筒が入っていますので、ミサに来られた際にご確認ください。

万一、封筒が見当たらない場合には、会計担当(玉木(千))までお申し出ください。尚、お金を入れた封筒は、その棚(引き出し)には入れず、ミサ時の献金カゴにお入れください。当日中に、会計担当が確認をし、領収印(署名)を付した封筒を棚(引き出し)にお返しします。

延岡幼稚園が閉園されて久しいですが、幼稚園関係者駐車場代金等の固定収入が無くなって以降、教会資金はマイナスの一途となっています。別途、ビジネス的に収入獲得の道を模索しますが、課税対象行為になると宗教活動との関係整理も必要ですのでベースは信徒で支える教会である方が望ましいのです。

会計資金の使途拡充について

上述の通り、皆様から頂く「お金」は、原則 使途目的毎に区分管理しています。しかしながら、皆様ご承知の 音響設備・水道管破損・トイレ水栓故障・照明不具合の他 お御堂内外で設備老朽化に起因するトラブルも頻発し、「教会維持費」区分のみでの資金対応が難しくなっています。「営繕費」という名称からは一般に「修理・修繕費用」と想像されるかもしれませんが、過去の記録を確認すると「(新)司祭館建設資金」として管理されてきた経緯があります。

この「営繕費」の使途対象を司祭館に限定せずに広く教会関係施設一般の「営繕」費用に充当してはどうかという案が評議員会(役員会)にて浮上しており、「信徒総会」に諮る予定です。

本件について、日常コミュニケーションを含め、皆様からのご意見を随時募集します。上記の「維持費」収入増へのご協力と共に、使途区分拡充についても、是非一緒にお考えください。